



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社 ゲオホールディングス

上場取引所 東

コード番号 2681 URL <http://www.geonet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 結蔵

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部ゼネラルマネージャー (氏名) 村上 幸正

TEL 052-350-5711

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	136,142	10.8	7,463	80.2	7,881	76.4	4,369	80.8
29年3月期第2四半期	122,907	1.3	4,141	48.9	4,468	49.0	2,417	55.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4,408百万円 (77.3%) 29年3月期第2四半期 2,486百万円 (53.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	90.97	90.70
29年3月期第2四半期	50.07	49.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	130,538	70,682	54.0
29年3月期	130,768	67,711	51.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 70,507百万円 29年3月期 67,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		17.00		17.00	34.00
30年3月期		17.00			
30年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	6.3	13,000	50.1	13,500	49.3	7,000	65.8	146.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	48,295,200 株	29年3月期	48,291,200 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	450,000 株	29年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	48,022,746 株	29年3月期2Q	48,269,790 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(単位：百万円)

	前年同期間の実績	当期間の実績	前年同期比	当期連結累計期間	
				業績予想	進捗率
売上高	122,907	136,142	110.8%	285,000	47.8%
営業利益	4,141	7,463	180.2%	13,000	57.4%
経常利益	4,468	7,881	176.4%	13,500	58.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,417	4,369	180.8%	7,000	62.4%

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、レンタル商材が低調に推移したものの、ゲーム関連においてヒット作品に恵まれた影響で新品商材が売上に大きく貢献し、加えて衣料・服飾を中心とするリユース商材が好調に推移したことにより、同期間で過去最高の売上高を更新いたしました。また、利益におきましても売上高増加に伴い、売上総利益が前年同期間を上回り、販売管理費につきましては販売促進費や人件費及び備品消耗品費等の更なる削減に努めた結果、各利益において前年同期間を超えることとなりました。

店舗開発におきましては、衣料・服飾や家具・家電等のリユース品の買取販売を行う総合リユースショップ「セカンドストリート」を新規に19店舗(FC店舗含む)出店することにより、リユース市場シェアの拡大を図るとともに同ブランドの価値向上を目指してまいりました。

また、新規商材である中古モバイルにつきましては、市場の活性化と同時に「格安スマホ」需要が高まっており、専門スタッフによる修理サービスやモバイルに関するサポートなど様々なサービスを提供することに加え、Eコマースの拡大に努め、中古モバイルの認知度を図ってまいりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。

() 内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店	代理店	FC店	合計
ゲオグループ店舗数	1,592 (+13)	104 (+3)	125 (0)	1,821 (+16)
メディア系店舗	1,051 (△11)	104 (+3)	76 (0)	1,231 (△8)
ゲオモバイル(単独店舗)	16 (0)			16 (0)
リユース系店舗	520 (+14)		49 (0)	569 (+14)
ウェアハウス	10 (△1)			10 (△1)
その他	11 (+11)			11 (+11)

(注) 1. 屋号毎の店舗数をカウントしています。

2. メディア系店舗はDVDレンタルや家庭用ゲームの買取販売等を行う店舗(屋号：ゲオ、ゲオモバイル)をカウントしています。

3. ゲオモバイルはメディア系店舗に併設されていないモバイルショップを指します。

4. リユース系店舗は衣料品や家電製品等の買取販売を行う店舗(屋号：セカンドストリート、スーパーセカンドストリート、セカンドアウトドア、ジャンブルストア等)をカウントしています。

(主要商材別の状況)

① レンタル

レンタル映像ではヒット作品がリリースされた夏季期間におきましては堅調に推移したものの、他期間が軟調となり、売上高は34,082百万円(前年同期比93.8%)となりました。

② メディア系リユース

中古携帯が堅調に伸びたことや、中古ゲームも好調に推移し、売上高は26,013百万円(前年同期比108.7%)となりました。

③ リユース系リユース

新規出店による売上増加に加え、衣料・服飾商材が好調に推移し、売上高は20,539百万円(前年同期比113.9%)となりました。

④ 新品

夏季期間におけるゲームソフト発売により、ゲーム関連商材が売上を牽引し、売上高は40,417百万円(前年同期比129.1%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期末における総資産は130,538百万円となり、前連結会計年度末比229百万円の減少となりました。

なお、純資産は70,682百万円となり、自己資本比率は54.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1,112百万円増加し、38,020百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は6,476百万円(前年同四半期は30百万円の減少)となりました。

これは、仕入債務の減少額が5,644百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益が7,288百万円と減価償却費が2,398百万円、法人税等の還付額が1,897百万円ありましたがが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は1,928百万円(前年同四半期は5,354百万円の減少)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が2,051百万円ありましたがが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は3,579百万円(前年同四半期は977百万円の減少)となりました。

これは、短期借入れによる収入が10,400百万円と長期借入れによる収入が2,900百万円ありましたが、短期借入金の返済による支出が12,040百万円と長期借入金の返済による支出が3,425百万円、配当金の支払額が819百万円ありましたがが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年10月27日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,087	36,193
受取手形及び売掛金	4,595	5,384
商品	25,773	27,879
その他	11,747	7,906
貸倒引当金	△123	△58
流動資産合計	76,081	77,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,482	13,392
その他(純額)	17,614	16,050
有形固定資産合計	31,097	29,443
無形固定資産	2,049	2,265
投資その他の資産		
敷金及び保証金	15,319	15,415
その他	7,076	6,973
貸倒引当金	△856	△865
投資その他の資産合計	21,539	21,523
固定資産合計	54,687	53,232
資産合計	130,768	130,538
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,322	11,197
1年内返済予定の長期借入金	6,072	5,947
未払法人税等	448	2,414
賞与引当金	1,787	1,460
その他	9,348	9,742
流動負債合計	33,980	30,761
固定負債		
長期借入金	20,437	20,337
資産除去債務	5,064	5,159
その他	3,575	3,598
固定負債合計	29,076	29,094
負債合計	63,056	59,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,896	8,898
資本剰余金	3,309	3,311
利益剰余金	55,125	58,552
自己株式	-	△525
株主資本合計	67,331	70,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243	281
繰延ヘッジ損益	△12	△10
その他の包括利益累計額合計	231	270
新株予約権	149	174
純資産合計	67,711	70,682
負債純資産合計	130,768	130,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	122,907	136,142
売上原価	67,806	77,808
売上総利益	55,100	58,334
販売費及び一般管理費	50,959	50,871
営業利益	4,141	7,463
営業外収益		
不動産賃貸料	646	634
その他	262	479
営業外収益合計	908	1,114
営業外費用		
不動産賃貸費用	389	483
その他	192	212
営業外費用合計	581	695
経常利益	4,468	7,881
特別損失		
減損損失	533	593
特別損失合計	533	593
税金等調整前四半期純利益	3,934	7,288
法人税、住民税及び事業税	1,380	2,451
法人税等調整額	137	468
法人税等合計	1,517	2,919
四半期純利益	2,417	4,369
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,417	4,369

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	2,417	4,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	37
繰延ヘッジ損益	△1	1
その他の包括利益合計	69	39
四半期包括利益	2,486	4,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,486	4,408

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,934	7,288
減価償却費	2,568	2,398
レンタル用資産減価償却費	4,472	3,622
減損損失	533	593
受取利息及び受取配当金	△20	△19
支払利息	104	92
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△646	△767
レンタル用資産取得による支出	△3,905	△2,692
仕入債務の増減額 (△は減少)	△914	△5,644
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△487	883
その他	△787	△559
小計	4,852	5,193
利息及び配当金の受取額	10	12
利息の支払額	△107	△92
法人税等の支払額	△4,785	△534
法人税等の還付額	-	1,897
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30	6,476
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,205	-
有形固定資産の取得による支出	△3,158	△2,051
その他	△991	122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,354	△1,928
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,900	10,400
短期借入金の返済による支出	△9,900	△12,040
長期借入れによる収入	4,400	2,900
長期借入金の返済による支出	△4,458	△3,425
配当金の支払額	△820	△819
その他	△98	△595
財務活動によるキャッシュ・フロー	△977	△3,579
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,362	968
現金及び現金同等物の期首残高	39,386	36,908
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	143
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,024	38,020

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間

(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。